

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	放課後児童クラブ事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	保護者が就労等により昼間家庭に居ない、小学校に就学している児童に対して、授業の終了後等に、小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るとともに、直営の事業を補完するため、学童保育を実施する社会福祉法人等に対して補助金を交付し、事業運営を支援する。				
6年度概要	①公立放課後児童クラブ（105教室）運営の一部民間委託に要する経費 ②公立放課後児童クラブ（105教室）運営の直営実施に要する経費 ③放課後児童健全育成事業補助金（民間放課後児童クラブへの運営補助） 37教室 ④公立クラブにおける空調設備改修工事実施設計 ⑤公立クラブにおけるWi-F導入経費				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-⑥	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童
意図（どのような状態にしたいか）	児童にとっての安全な居場所を確保するとともに、遊びを通して自主性、社会性、創造性を向上させ、児童の健全な育成を推進する。また、これによって保護者にとって安心して就労できる環境を整える。

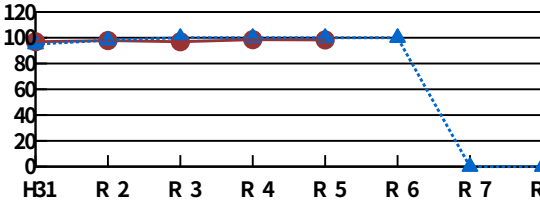
【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 受入可能児童数	人	5,101	5,283	5,517	5,542	5,391
②						

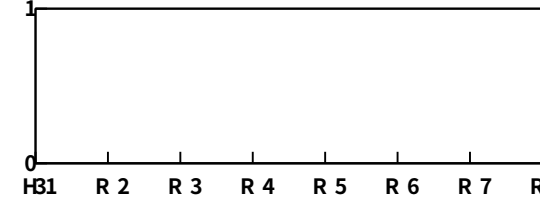
【事業の成果】

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
放課後児童クラブ入会率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	96.9	98.5	98.3		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 公立放課後児童クラブ1教室、民間放課後児童クラブ1教室を増室したことにより、受入可能児童数が増加したが、それを上回る利用希望があったため、目標を達成できなかった。 (目標達成度)	 (達成度) 98.3% 34点						

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	 (達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	1,030,973	1,118,104	1,166,535	1,455,156
（事業費）	円	985,673	1,073,200	1,121,373	1,419,026
（職員人件費）	円	45,300	44,904	45,162	36,130

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
公立クラブにおける放課後児童支援員の人材不足を解消に努めるほか、学校施設の活用による公立クラブの増室を進めるとともに、複数校区の児童の受入れが可能な民間事業者の参入を促進しているものの、令和6年5月1日現在において、待機児童の解消には至っていない。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
令和6年度からの公立クラブの民間委託化により、公立クラブの更なる増室に対応できるよう、受託者に対して安定的な職員体制の確保を要請するほか、校区ごとの量の見込みの増加に対応するため、公立クラブの整備に当たっては、学校施設の活用による整備を基本とし、公設での対応が難しい地域については、民間事業者による整備を推進するなど、必要とする教室数を確保することにより、引き続き、待機児童の解消を目指す。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	放課後子ども教室事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	放課後等子ども活動サポーターを確保するため、地域の協力を得ながら、各校区に、コーディネーター、教育活動推進員、家庭教師、ボランティアなどを配置し、学び、スポーツ、文化活動、地域の方々との交流活動等を行う。 実施場所：小学校の余剰教室、体育館、運動場、図書室、コミュニティセンター等 実施時間：平日 放課後～午後5時、土曜日・日曜日等 午前9時～正午				
6年度概要	放課後子ども教室事業の実施 35校区／47校区 継続 33校区 新規 2校区 放課後子どもプラン推進委員会開催 1回 子どもの居場所づくり指導者養成事業（研修会）開催 5回				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）	

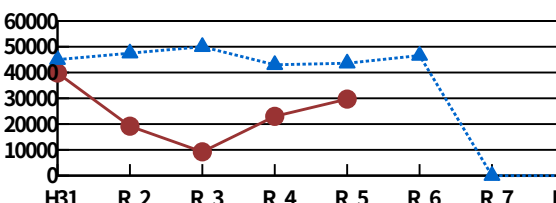
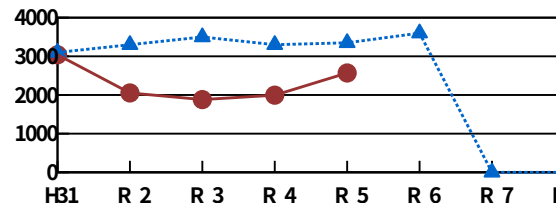
【事業の目的】

対象（何を）	小学校の1年生から6年生の児童
意図（どのような状態にしたいか）	子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 開設延べ日数	日	594	1,353	1,362	2,500	2,400
② 放課後子ども教室実施校区数	校	34	34	33	47	34

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	参加児童数	人	目標値	50,000	43,000	43,600	46,600	43,600
			実績値	9,235	22,997	29,689		
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 68.1%
	登録児童数	人	目標値	3,500	3,300	3,350	3,600	3,350
			実績値	1,881	1,995	2,569		
成果指標③	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 76.7%
								26点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	18,230	23,995	24,261	28,337
（事業費）	円	10,680	16,511	16,734	20,810
（職員人件費）	円	7,550	7,484	7,527	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
実践的かつ多様な研修を実施することにより人材の育成を図り、事業の充実に努めた。目標達成に向け、引き続き、新規開設校区の増加に取り組む必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
実践的かつ多様な研修を実施し、人材を育成することにより、事業の充実に努めるとともに、未実施校区の関係団体に対し、独自財源で実施している類似事業を放課後子ども教室として実施することを提案するなど、教室開設の働き掛けを継続し、新規開設校区の増加を図る。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	ファミリー・サポート・センター事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	仕事と育児の両立を支援するため、地域において育児の援助を受けたい人を行いたい人が会員となり、育児について相互に助け合える運営（有償や無償の相互援助活動の調整・支援などを行う。援助活動内容としては、保育施設への送迎、保育時間前後の子どもの預かり、保護者の病氣や急用時、冠婚葬祭、上の子どもが学校行事など外出時の子どもの預かりなどがある。事業運営は、公募により、開設当初から特定非営利活動法人に委託して実施している。				
6年度概要	登録会員数見込：2,500人（依頼会員1,850人、提供会員580人、両方会員70人） 援助活動件数見込：7,000件 会員養成講座：年3回、会員スキルアップ講座：年2回、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：36・37号発行 利用者への給付（幼児教育・保育の無償化の一環）				
重点取組事業	市長マニフェスト		事務事業の類型	①ソフト事業（法律による実施義務有）	

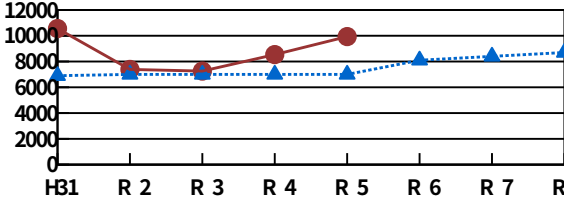
【事業の目的】

対象（何を）	育児などの援助を必要とする人と援助を行いたい人
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭が仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域ぐるみの子育て支援・児童健全育成を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① センター運営延べ日数	日	307	308	309	0	309
②						

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	目標値	7,000	7,000	7,000	8,100	7,000
①	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。 							
			実績値	7,257	8,537	9,934		
②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 援助を行いたい会員の高齢化等により退会する傾向がある。広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努めたが、目標には達しなかった。 	人	目標値	2,800	2,800	2,800	2,500	2,800
			実績値	2,445	2,490	2,572		

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	18,875	18,971	18,891	18,924
（事業費）	円	12,835	12,984	12,869	12,902
（職員人件費）	円	6,040	5,987	6,022	6,022

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 令和5年度末現在の利用件数、会員数は、いずれも前年度と比べ増加傾向にあるが、利用件数の増加に対し、提供会員数の増加は緩やかである。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後も提供会員の確保に努めるとともに、講習会及び交流会を定期的に開催し、提供会員の質の向上を図り、必要とする時に支援を受けられる安定したサービスの提供に努める。			

総合計画体系	まちづくりの目標		健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども保育教育課
	施策		子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業		子育てと仕事の両立支援	事業実施主体	市	
	事務事業		私立保育所運営支援事業	事業期間	平成28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・子育て支援新制度において、私立保育所に対し、法で定める公定価格に基づき、委託費を支払うとともに、私立保育所が保育を行うことに要する費用を支弁する。				
6年度概要	主な事業内容 1 報償費（事務謝金） 2 補助金（保育体制強化事業、使用済み紙おむつ処分費補助） 3 補助金（市単独）				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

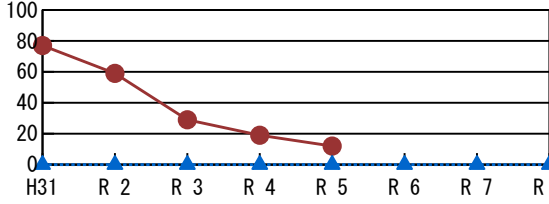
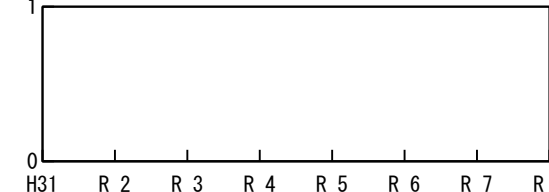
【事業の目的】

対象（何を）	私立保育所
意図（どのような状態にしたいか）	私立保育所が児童福祉法に定める最低基準を維持しつつ、安定的な保育が実施できるよう運営支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R 5
① 運営費交付件数	件	35	34	34	0	34
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R 5
	待機児童数（4月1日現在）	人	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	29	19	12		
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 36.8%
								11点
成果指標③	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
			実績値					
成果指標④	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	4,494,633	4,445,048	4,495,813	120,345
（事業費）	[千円]	4,488,593	4,439,061	4,489,791	114,323
（職員人件費）	[千円]	6,040	5,987	6,022	6,022

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
事業費は前年度比プラス委50,730千円と増加している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
各私立保育所における地域の子どもの利用状況や今後の動向の把握等に努め、地域の教育・保育に係る提供体制を確保し、新制度を円滑に施行する。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	その他
	事務事業	認可外保育施設支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	認可外保育施設に対し補助することにより、認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。また、一定の基準を満たす認可外保育施設を高松市すこやか認定保育所として認定し補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。				
6年度概要	認可外保育施設に対し補助することにより、認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	認可外保育施設
意図（どのような状態にしたいか）	認可外保育施設に対する補助によって、保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標R5
① 認可外保育施設補助金交付件数	件	7	7	8	8	7
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標R5
待機児童数（4月1日現在）	人	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	29	19	12		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、一定の解消は図られてきたが、共働き世帯の増加等による保育需要の高まりから、待機児童解消には至っていない。 (目標達成度) 							(達成度) 36.8% 11点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	円	85,154	100,506	119,451	61,330
（事業費）	円	79,114	94,519	113,429	55,308
（職員人件費）	円	6,040	5,987	6,022	6,022

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 事業費は前年度比プラス18,910千円と増加傾向にある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後も当該施策の状況を注視し、より効率的な事業となるよう取り組みたい。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	病児保育事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童が、病児回復期（病後児）又は病気の回復期には至らないが当面症状の急変が認められない場合で、まだ集団保育ができず、保護者も仕事等の理由により家庭で育児ができない場合に、医院等に付設された専用スペースで一時的に預かることにより、保護者の子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備する。				
6年度概要	委託施設（医療機関 6 か所）（病児対応型） トビツメ小児科・西岡医院・小林内科小児科医院・へいわこどもクリニック・しぶや小児科・わき外科内科				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	①ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	小学校 6 年生までの児童とその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 施設開設延べ日数	日	1,641	1,465	1,544	1,400	1,400
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標① 病児・病後児保育事業利用者数	人	目標値	2,500	2,500	2,500	7,800	2,500
		実績値	4,851	5,085	8,741		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 349.6%
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標② 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが 5 類に移行した後、利用者数は大幅に回復し、目標を達成した。		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	106,944	111,912	140,580	150,520
（事業費）	円	100,904	105,925	134,558	144,498
（職員人件費）	円	6,040	5,987	6,022	6,022

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが 5 類に移行した後、利用者は大幅に回復しており、ニーズ量に応じた受入れ体制を確保していく必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
・感染症予防に留意しながら、必要な家庭が利用できるよう、受入れ体制を整える。 ・予約システムの導入など、利用者や施設の負担軽減、利便性の向上を検討していく。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども保育教育課
	施策		子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業		子育てと仕事の両立支援	事業実施主体	市	
	事務事業		小規模保育事業等地域型保育給付事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・子育て支援法第29条第1項に基づき、満3歳未満保育認定こどもが特定地域型保育事業者から特定地域型保育を受けるに要した費用について地域型保育給付費を支給するもの。					
6年度概要						
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	①ソフト事業（法律による実施義務有）	

【事業の目的】

対象（何を）	地域型保育事業所
意図（どのような状態にしたいか）	地域型保育事業所が、子ども・子育て支援法に定める最低基準を維持しつつ、安定的な保育が実施できるよう運営支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 給付支給先事業数	件	17	21	21	0	21
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
待機児童数（4月1日現在）	人	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	29	19	12		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、一定の解消は図られてきたが、共働き世帯の増加等による保育需要の高まりから、待機児童解消には至っていない。 （目標達成度） （達成度） 36.8% 11点							
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度） （達成度）							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	650,603	874,849	950,294	0
（事業費）	〔円〕	649,848	874,101	949,541	0
（職員人件費）	〔円〕	755	748	753	0

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	統合
【昨年度の実施状況と課題】 （評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 事業費は前年度比プラス75，440千円と増加している。			
【今後の事業方針】 （評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 各事業の利用状況の把握に努め、地域の教育・保育に係る提供体制を確保し、新制度を円滑に施行する。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	保育士確保対策事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	待機児童解消に向けて、公募による認定こども園への移行等を進めているところであるが、一方で保育士の不足により、定員まで児童を受け入れできない保育所等もある。特に保育士不足傾向にある私立保育所等において、保育士の確保が図られることが緊急の課題となっていることから、期間限定で本市独自の事業を実施する。				
6年度概要	①潜在保育士就職一時金支給事業 ②保育士宿舎借上げ支援事業 (国庫補助 1/2、事業主負担 1/4) ③ICT化推進等事業補助金 (国庫補助 1/2、事業主負担 1/4)				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の種類	

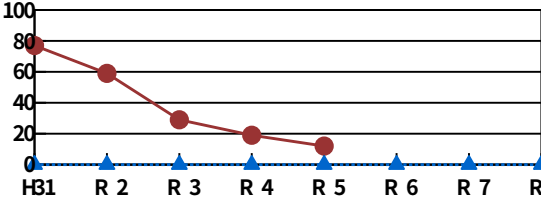
【事業の目的】

対象（何を）	保育所等利用待機児童
意図（どのような状態にしたいか）	施設整備と併せて、保育士確保が図られることにより、待機児童の確実な解消につなげることができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 補助金交付人数	人	112	133	64	7	112
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
待機児童数（4月1日現在）	人	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	29	19	12		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、一定の解消は図られてきたが、共働き世帯の増加等による保育需要の高まりから、待機児童解消には至っていない。 							(達成度) 36.8% 11点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	13,935	16,206	8,762	35,450
（事業費）	〔円〕	13,180	15,458	8,009	34,697
（職員人件費）	〔円〕	755	748	753	753

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
待機児童が解消されることにより、子育て家庭を社会全体で支える仕組みが整う中で、子どもを持ちたいと思う若い世代が増えていく。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
今後も事業についての周知を関係機関等を実施し、申請者の増加に努める。			